

都政への
ご意見・ご要望を
お寄せください。



都議会生活者ネットワー
クホームページ



岩永やす代



一般質問
から

外国にルーツのある子どもへの支援
子どもの権利の視点で

日本語が困難な外国ルーツの子どもには、ありのままの自分で過ごしたり、孤立しがちな子どもたちが人間関係を築いたり、親子で安心して過ごせる居場所が重要である。2023年度に始まる「多文化キッズコーディネーター」や「多文化キッズサロン」について、支援の充実を求めた。また、外国人は、高校卒業資格がないと、就労制限があるため将来に大きく影響する。ところが、高校中退率は全体と比べると6倍以上と高いことから、高校卒業資格を得るための支援を求めた。23年度から必要とするすべての都立高校への日本語支援員を配置する旨答弁。支援の充実につながることを期待している。

ユースヘルスケアの
相談窓口

生活者ネットワークはジェンダー主流化を掲げ、男女平等やSOGI、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツなどの課題に取り組んでいる。人権に基づく性教育の必要性はもちろん、若者が性の相談を安心して気軽にできるユースクリニックや、年齢の近い大学生などと語り合える場を、街なかにつくるよう、20年以上前から提案してきた。しかし、性教育は2003年ごろから吹き荒れたバックラッシュの影響で、進展しないばかりか後退し教育現場は萎縮、性教育も相談機能も、若者の性に関する取り組みは置き去りにされてきた。

ユースヘルスケア推進事業の取り組みについて質問。都は、昨年秋ようやく相談窓口を設置、2023年度には固定の相談場所を区部に設置する。若者が利用しやすい性の相談場所となることを求めた。

公営企業
委員会
質疑より

双子用ベビーカーでも
安心して外出できるように

2022年6月から都内全路線のノンステップバスで、双子用ベビーカーが乗車できるようになった。しかし実際には、利用者からは外出時の苦勞が絶えず、「無理〜!」と多くの声があがっている。都営バスこそ、だれもが利用できるユニバーサルデザインが求められる。ベビーカーでのスムーズな乗り降りができるよう、車両のハード面整備も必要だが、まずは当事者のニーズを聞き、今後の車両整備に活かすことを求めた。また、安心してバスや電車を使って外出できるように、車内アナウンスで周囲の理解をすすめるなどソフト面の対策も求めた。



双子用ベビーカーでバスに乗るのは大変!

断熱対策は
環境にもおサイフにもやさしい

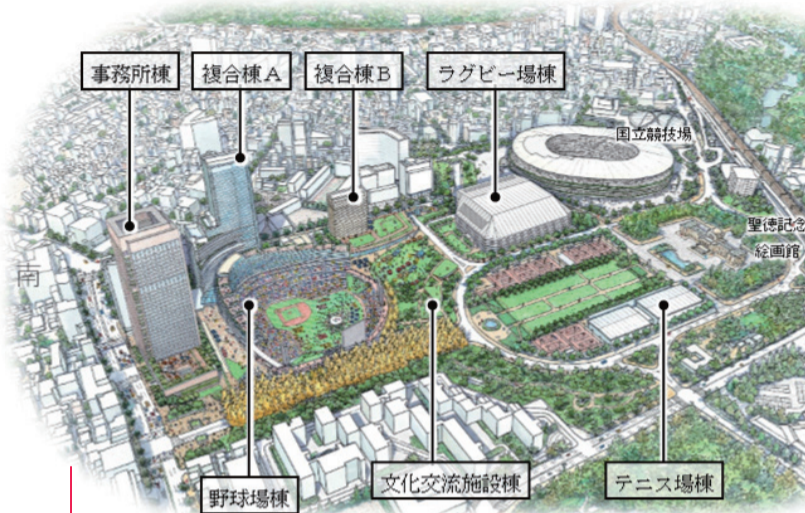
気候危機対策として、建物の断熱化も効果的であることが知られている。住まいの断熱化は、CO2削減とともに、貧困対策や健康づくりに役立つ。冷暖房費節減だけでなく、カビ予防やヒートショック対策にも寄与するからだ。光熱費が高騰している今こそ、環境と福祉をセットで推進する視点に着目すべきだ。そこで、既存の都営住宅やマンションなどの断熱化推進の方策について質問。都営住宅については現在コストを検証しており、マンション1棟丸ごと断熱改修する場合の補助や相談窓口を紹介している、また一般住宅対象の電話相談窓口を1月に開設したと答弁。都は省エネ誘導策を始めている。相談事業を行う市民活動と連携して、断熱、省エネが普及するようなくみを求めている。



市民と行政の協議会「2030年カーボンハーフ」から省エネ・再エネを進める(2022年7月21日)で、市民からCO2削減に向けたアイデア・提案が出された。

朝鮮学校への
補助金復活を

1955年から長らく支給されていた朝鮮学校への私立外国人学校教育運営費補助金が、2010年から停止している。この補助金は外国人学校・インターナショナルスクールには支給されているが、朝鮮学校だけ外されている。先日、再開を求めて市民団体が都に要請し、当事者である子どもたちの声も届けられた。東京に暮らす子どもが通っている学校だ。都議会全会派の賛成で制定された、東京都子ども基本条例の趣旨も踏まえ、一日も早く復活することを求めた。



神宮外苑の完成イメージ(東京都都市整備局ホームページより)

大量の樹木を伐採する
神宮外苑の再開発に反対

オリンピックを錦の御旗に、何でもできると、神宮外苑の景観を大きく変える開発事業がいよいよ始まるようとしている。100年育まれた環境をないがしろにする開発計画に、生活者ネットワークは反対している。



岩永やす代の質問で、ようやく都庁前駅に「香害」ポスターが初めて貼り出された。2023年3月



駅の授乳室

◀小田急線下北沢駅ではおむつ替えもできる

▼都営地下鉄上野御徒町駅は授乳しかできない

都営交通で初めて
授乳室を設置!

生活者ネットワークでは、子育て支援として都営交通に授乳やおむつ替えのできる「赤ちゃんふらっと」の設置を求めていたが、今年2月から都営地下鉄大江戸線の上野御徒町駅に、都営交通で初めて授乳室が設置された。しかし残念ながら、おむつ替えはできない。小田急線では、駅構内に授乳やおむつ替えのできる「ベビーケアルーム」の設置がすすんでいる。利用者や子育て世代の声を聞きながら、都営交通でも授乳室の設置を増やすことを求めた。

